

リーディングDXスクール事業【実践事例】

相模原市立中野中学校（神奈川県）

【取組内容①】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 ・資料の蓄積と学びの共有

実験結果の考察をICTでまとめる生徒もいれば、紙にまとめる生徒もいる。自分の最適な方法で、記録を残す。



【個の学びの時間】
自分の演奏を動画で撮影し、何度も確認をする。



結果を班でまとめて共有をする。そこから、実証性、再現性、客観性をもって科学的に探究する。

【協働的な学びの時間】
考えを共有しながら新たな考えを構築する。